

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	レクサス純正ガラスコート
製品分類	ガラスコーティング剤
主な用途	窓ガラスへの撥水性付与
供給者の会社名称	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号	0575-24-4632
FAX 番号	0574-24-7223
発行日	2021 年 4 月 13 日

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品の GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2A
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（中枢神経系、視覚器、全身毒性） 区分 3（気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（中枢神経系、視覚器、血液系） 区分 2（脾臓、呼吸器、肝臓）

#### GHS ラベル要素



絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H319	強い眼刺激
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370	中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
H372	長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器、血液系の障害
H373	長期にわたる又は反復ばく露による脾臓、呼吸器、肝臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を手入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 P233 容器を密閉しておくこと。  
 P240 容器を接地しアースをとること。  
 P241 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。  
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。  
 P243 静電気放電に対する措置を講ずること。  
 P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

**応急措置**

- P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
 皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。  
 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
 P321 特別な処置が必要である（このラベルの応急措置を見よ）。  
 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 P370+P378 火災の場合：消火するために指定された消火剤を使用すること。

**保管**

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 P405 施錠して保管すること。

**廃棄**

- P501 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託し廃棄すること。

**3. 組成、成分情報**

化学物質・混合物の区別 混合物

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

#### 含有成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
イソプロパノール	80～90	67-63-0	(2)-207	該当 (494)	非該当	非該当
メタノール	10～20	67-56-1	(2)-201	該当 (560)	非該当	非該当 <sup>(1)</sup>
二酸化ケイ素 (非晶質シリカ)	<0.5	68611-44-9	(1)-548	非該当	非該当	非該当

注<sup>(1)</sup> 該当成分は含有するが、混合物のため非該当

注記 化審法 No：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号

労安法：労働安全衛生法

PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

毒劇法：毒物及び劇物取締法

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

誤って多量にガスを吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かく安静にすること。  
もし、呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合には、医師の診断を受けること。

##### 皮膚に付着した場合

付着液を紙、布にて素早く拭き取ること。  
多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受けること。

##### 眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。目蓋も裏まで完全に洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師の診断を受けること。

##### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合、無理に吐かせずに口を水ですすぎ、直ちに医師の診断を受けること。  
但し、被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

#### 5. 火災時の措置

**適切な消火剤** 霧状水、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂

**使ってはならない消火剤** 棒状水

##### 火災時の特有の危険有害性

着火後爆発の危険性がある。加熱により容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスが発生することがある。

##### 特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。消火作業は風上から行なうこと。  
大規模火災には霧状水又は耐アルコール泡消火剤を使用のこと。

##### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等)を着用する。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用すること。
- 屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行なうこと。
- 風上から作業し、風下の人を退避させる。着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。

### 環境に対する注意事項

- 流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙などを用いて吸収させて空容器に回収する。その後、漏出区域周辺を水で洗い流す。洗浄した水等は地面や排水溝等にそのまま流さない。
- 多量の場合は、土のうなどで流出を防ぎ、ポンプなどで吸い取ること。
- 廃棄物は、関係法令などに基づいて処理すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- 取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
- 機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。
- 取扱い場所の近くには、手洗いおよび洗眼などの設備を設ける。

#### 安全取扱い注意事項

- 換気の良い場所で使用する。容器はその都度密栓すること。
- 多量に使用する場合は、皮膚・目・顔を保護する適切な保護具を着用すること。
- 周辺での火気・スパーク・高温物の使用は避けること、みだりに蒸気を発生させないこと。

#### 接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

- 取扱い後はよく手を洗うこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

- 直射日光に当たらない、冷暗所に貯蔵する。換気の悪い場所には貯蔵しない。

#### 安全な容器包装材料

- 元の容器で保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
イソプロパノール	200ppm	400ppm(980mg/m <sup>3</sup> ) (OEL-C)	200ppm (TLV-TWA) 400ppm (TLV-STEL)
メタノール	200ppm	200ppm(260mg/m <sup>3</sup> )	200ppm (TLV-TWA) 250ppm (TLV-STEL)
二酸化ケイ素	設定されていない	吸入性粉じん 2mg/m <sup>3</sup> 総粉じん 8mg/m <sup>3</sup>	10mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)

SDS 登録 No.00170288-A-JP2

製品名 レクサス純正ガラスコート

**設備対策**

蒸気の発生源や取扱い作業場所には、密閉系設備または局所排気装置等を設ける。

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

**保護具**

呼吸用保護具	必要に応じて有機ガス用保護マスクを使用する。
手の保護具	必要に応じて耐油性手袋を使用する。
眼、顔面の保護具	必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護前掛け、導電性安全靴を使用する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	: 液体
色	: 白色半透明
臭い	: アルコール臭
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 14°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7 (5wt%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.80g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性	酸化性なし、自己反応性なし
化学的安定性	通常の条件では安定
危険有害反応可能性	強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の可能性がある。
避けるべき条件	加熱、高温
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、ホルムアルデヒド

**11. 有害性情報**

製品に対する有害性情報	データなし
組成物質に関する有害性	

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

## イソプロパノール

### 急性毒性

ラット(経口) LD50=4,384 mg/kg (EPA Pesticides (1995))、4,396 mg/kg (EHC 103 (1990))、4,710 mg/kg (EHC 103 (1990)、PATTY (6th, 2012)、SIDS (2002))、5,000 mg/kg (環境省リスク評価第6巻(2006))、5,045 mg/kg (環境省リスク評価第6巻(2006))、5,280 mg/kg (EHC 103 (1990)、SIDS (2002))、5,300 mg/kg (PATTY (6th, 2012))、5,480 mg/kg (EHC 103 (1990)、PATTY (6th, 2012))、5,500 mg/kg ((EHC 103 (1990)、SIDS (2002))、5,840 mg/kg (PATTY (6th, 2012)、SIDS (2002))。

ウサギ(経皮) LD50=12,870 mg/kg (EHC 103 (1990)、(PATTY (6th, 2012)、(SIDS (2002))。ラット(吸入:蒸気)LC50(4時間)=68.5 mg/L (27,908 ppmV) (EPA Pesticides (1995))、72.6 mg/L (29,512 ppmV) (EHC 103 (1990)、SIDS (2002))。

### 皮膚腐食性/刺激性

EHC 103 (1990)、PATTY (6th, 2012)、ECETOC TR66 (1995) のウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なし又は軽度の刺激性の報告があるが、EHC 103 (1990) のヒトでのボランティア及びアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さないとの報告から、軽微ないし軽度の刺激性があると考えられる。

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

EHC (1990)、SIDS (2002)、PATTY (6th, 2012)、ECETOC TR48 (1998) のウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていない。

### 呼吸器感受性又は皮膚感受性

情報なし。

### 生殖細胞変異原性

in vivoでは、体細胞変異原性試験であるマウスの骨髄細胞を用いる小核試験(SIDS (2002))、ラットの骨髄細胞を用いる染色体異常試験(EHC 103 (1990))で陰性の結果が報告されている。in vitroでは、染色体異常試験のデータはなく、細菌を用いる復帰突然変異試験(SIDS (2002)、EHC 103 (1990))、哺乳類培養細胞を用いるhgprt遺伝子突然変異試験(SIDS (2002))で陰性である。なお、IARC 71 (1999)、環境省リスク評価第6巻(2008)では変異原性なしと記載している。

### 発がん性

IARC 71 (1999) でグループ3、ACGIH (7th, 2001) でA4に分類されている。

### 生殖毒性

ラットの経口投与による2世代試験では生殖発生毒性は認められなかったとの記述がある(IARC 71 (1999)、EHC 103 (1990))が、このデータの詳細は明らかではない。比較的新しいラットの経口投与による2世代試験では親動物に一般毒性影響(肝臓及び腎臓の組織変化を伴う重量増加)が認められる用量で、雄親動物に交尾率の低下、児動物には生後に体重の低値及び死亡率の増加が見られたと記述されている(PATTY (6th, 2012))、SIDS (2002))。雄親動物における交尾率の低下と新生児への有害影響は、親動物への一般毒性による二次的・非特異的な影響とは考えがたい。また、妊娠雌ラットに経口投与した発生毒性試験において、胎児には軽微な影響(体重低値、骨格変異)が見られたのみで、奇形の発生はなかったが、母動物毒性(不安定歩行、嗜眠、摂餌量及び体重増加量減少)がみられる用量で着床不全、全胚吸収など生殖毒性影響がみられている(PATTY (6th, 2012))。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

SIDS (2002)、EHC 103 (1990)、環境省リスク評価第6巻(2005)の記述から、本物質はヒトで急性中毒として中枢神経抑制(嗜眠、昏睡、呼吸抑制など)、消化管への刺激性(吐き気、嘔吐)、血圧、体温低下、不整脈など循環器系への影響を含み、全身的に有害影響を生じる。また、吸入ばく露により鼻、喉への刺激性(咳、咽頭痛)を示す(EHC 103 (1990)、環境省リスク評価第6巻(2005))。

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットに本物質の蒸気を4ヶ月間吸入ばく露試験で、100 mg/m<sup>3</sup>(ガイダンス値換算濃度: 0.067 mg/L/6 hr)以上で白血球数の減少が見られ、500 mg/m<sup>3</sup>(ガイダンス値換算濃度: 0.33 mg/L/6 hr)群では呼吸器(肺、気管支)、肝臓、脾臓に病理学的な影響が認められた(EHC 103 (1990))。

#### 誤えん有害性

情報なし。

#### メタノール

##### 急性毒性

ラット(経口)LD50値=6,200 mg/kg(EHC 196(1997))、9,100 mg/kg(EHC 196(1997))。メタノールの毒性はげっ歯類に比べ霊長類には強く現れるとの記述があり(EHC 196(1997))、ヒトで約半数に死亡が認められる用量が1,400 mg/kgであるとの記述(DFGOT vol. 16 (2001))がある。ウサギ(経皮)LD50値=15,800 mg/kg(DFGOT vol. 16 (2001))。

ラット(吸入:蒸気)LC50値>22,500 ppm(4時間換算値:31,500 ppm)(DFGOT vol. 16 (2001))。

##### 皮膚腐食性/刺激性

ウサギに20時間閉塞適用の試験で刺激性がみられなかった(DFGOT vol. 16 (2001))とする未発表データの報告はある。なお、ウサギに24時間閉塞適用後、中等度の刺激性ありとする報告もあるがメタノールによる脱脂作用の影響と推測されている(DFGOT vol. 16 (2001))。

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

ウサギを用いたDraize試験で、適用後24時間、48時間、72時間において結膜炎は平均スコア(2.1)が2以上であり、4時間まで結膜浮腫が見られた(スコア2.00)が72時間で著しく改善(スコア0.50)した(EHC 196 (1997))。

##### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

モルモットを用いた皮膚感作性試験(Magnusson-Kligman maximization test)で感作性は認められなかったとの報告(EHC 196(1997))。なお、ヒトのパッチテストで陽性反応の報告が若干あるが、他のアルコールとの交差反応、あるいはアルコール飲用後の紅斑など皮膚反応の可能性もあり、メタノールが感作性を有するとは結論できないとしている(DFGOT vol. 16(2001))。

##### 生殖細胞変異原性

マウス赤血球を用いたin vivo小核試験(体細胞in vivo変異原性試験)において、吸入暴露で陰性(EHC 196 (1997))、腹腔内投与で陰性(DFGOT vol. 16 (2001)、PATTY (5th, 2001))である。なお、マウスリンフォーマ試験の代謝活性化(S9+)のみで陽性結果(EHC 196 (1997)、DFGOT vol. 16 (2001))はあるが、その他Ames試験(EHC 196 (1997)、DFGOT vol. 16 (2001)、PATTY (5th, 2001))やマウスリンフォーマ試験(EHC 196 (1997)、DFGOT vol. 16 (2001))やCHO細胞を用いた染色体異常試験(DFGOT vol. 16 (2001))などin vitro変異原性試験では陰性であった。

##### 発がん性

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)による未発表報告ではラット・マウス・サルの試験で発がん性なしとしている(EHC 196 (1997))。また、ラットを用いた8週齢より自然

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

死するまで飲水投与した試験で、雌雄に頭部と頸部のがん及び雌に血液リンパ網内系腫瘍の発生が有意かつ用量依存的に増加したと報告されている（ACGIH（2009））。しかし腫瘍の判定が標準的方法と異なり、動物の自然死後に行われていないため、評価あるいは比較が困難と考えられる。

#### 生殖毒性

妊娠マウスの器官形成期に吸入暴露した試験において、胎児吸収、脳脱出などが見られ〔PATTY（5th, 2001）〕、さらに別の吸入または経口暴露による試験でも口蓋裂を含め、同様の結果が得られている〔EHC 196（1997）、DFGOT vol. 16（2001）〕。メタノールの生殖への影響に関して、証拠の重みに基づく健康障害としての科学的判断がなされ、ヒトのデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、暴露量が十分であればメタノールがヒトの発生に悪影響を及ぼす可能性がある」と結論されている〔NTP-CERHR Monograph（2003）〕。

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ヒトの急性中毒症状として中枢神経系抑制が見られ、血中でのギ酸の蓄積により代謝性アシドーシスに至る。そして視覚障害、失明、頭痛、めまい、嘔気、嘔吐、クスマウル呼吸、クスマウル昏睡などの症状があり、時に死に至ると記述されている（DFGOT vol. 16（2001）、EHC 196（1997））。また、中枢神経系の障害、とくに振せん麻痺様錐体外路系症状の記載（DFGOT vol. 16（2001））もあり、さらに形態学的変化として脳白質の壊死も報告されている（DFGOT vol. 16（2001））。一方、マウスおよびラットの吸入ばく露による所見に「麻酔」が記載され（EHC 196（1997）、PATTY（5th, 2001））、ヒトの急性中毒に関する所見にも、中枢神経系の抑制から麻酔作用が生じていると記述されている（PATTY（5th, 2001））。

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトの低濃度メタノールの長期暴露の顕著な症状は広範な眼に対する障害だったとする記述（EHC 196（1997））や職業上のメタノール暴露による慢性毒性影響として、失明がみられたとの記述（ACGIH（7th, 2001））。また、メタノール蒸気に繰り返し暴露することによる慢性毒性症例に頭痛、めまい、不眠症、胃障害が現れたとの記述（ACGIH（7th, 2001））。なお、ラットを用いた経口投与試験で肝臓重量変化や肝細胞肥大（PATTY（5th, 2001）、IRIS（2005））などの報告がある。

#### 誤えん有害性

情報なし

#### 二酸化ケイ素

##### 急性毒性

経口（ラット）LD50 > 5,000mg/kg（文献）

吸入（ラット）LC50 > 0.477mg/L/4h（analogy OECD 実験的可能な最大濃度）

##### 皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激性（ウサギ）：刺激性なし（文献）

##### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼刺激性（ウサギ）：刺激性なし（文献）

##### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし。

##### 生殖細胞変異原性

AMES TEST：陰性（文献）

##### 発がん性

ネガティブ影響はない（文献）。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

#### 生殖毒性

ネガティブ影響は認められない。

#### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし。

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

生理学的変化は認められない。

#### 誤えん有害性

情報なし。

---

## 12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報 データなし

### 組成物質に関する有害性

#### イソプロパノール

##### 生態毒性

水性環境有害性 短期(急性)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間 ErC50 > 1,000 mg/L、甲殻類(オオミジンコ) 48時間 EC50 > 1,000 mg/L、魚類(メダカ) 96時間 LC50 > 100 mg/L(いずれも環境庁生態影響試験, 1997)。

水性環境有害性 長期(慢性)

甲殻類(オオミジンコ)の21日間 NOEC > 100 mg/L(環境庁生態影響試験(1997)、環境省リスク評価(2008))。

##### 残留性・分解性

BODによる分解度: 86%(既存点検, 1993)。

##### 生態蓄積性

情報なし。

##### 土壤中の移動性

情報なし。

##### オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

#### メタノール

##### 生態毒性

水性環境有害性 短期(急性)

魚類(ブルーギル)での96時間 LC50 = 15,400 mg/L(EHC 196, 1998)、甲殻類(ブラウンシュリンプ)での96時間 LC50 = 1,340 mg/L(EHC 196, 1998)である。

水性環境有害性 長期(慢性)

難水溶性ではない(水溶解度=1,000,000mg/L(PHYSROP Database, 2009))。

##### 残留性・分解性

情報なし。

##### 生態蓄積性

情報なし。

##### 土壤中の移動性

情報なし。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

#### オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

#### 二酸化ケイ素

##### 生態毒性

水性環境有害性 短期（急性）

魚類：LC50 (Brachydanio rerio) > 10,000mg/L/96h (OECD 203)

甲殻類：EC50 (Daphnia magna) > 10,000mg/L/24h (OECD 202)

藻類：IC50 (Scenedesmus subspicatus) > 10,000mg/L/72h (OECD 202)

水性環境有害性 長期（慢性）

情報なし。

##### 残留性・分解性

非該当。

##### 生態蓄積性

情報なし。

##### 土壤中の移動性

情報なし。

#### オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
残余廃棄物

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに委託して処理する。焼却処理をする場合、安全な場所で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害または損傷を及ぼす恐れのないように注意すること。

##### 容器・包装

製品が付着している容器も、廃棄物として適切に処理すること。  
容器を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

---

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連番号	1987
品名	アルコール類（他に品名が明示されているものを除く。）
国連分類	クラス 3（引火性液体類）
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当

#### 国内規制

##### 陸上輸送

取扱いおよび保管上の注意の項の一般的注意に従う。輸送の際は、容器漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。

##### 海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

SDS 登録 No.00170288-A-JP2  
製品名 レクサス純正ガラスコート

#### 航空輸送

航空法に定めるところに従う。

---

#### 15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 「3. 組成、成分情報」に記載  
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(イソプロピルアルコール、メタノール)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(イソプロピルアルコール、メタノール)

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

消防法 第四類 アルコール類 危険等級Ⅱ

海洋汚染防止法 有害液体物質(Y類物質)

船舶安全法 引火性液体類

航空法 引火性液体

---

#### 16. その他の情報

##### 参考資料

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法(JIS Z7252:2019)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法(JIS Z7253:2019)

---

**注意** 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。